



えどがわボランティアセンターだより

出会い

ふれ合い

助け合い

令和2年12月発行
第46号

【発行】公益財団法人えどがわボランティアセンター
〒132-0031 江戸川区松島1-38-1
電話:03-5662-7671/FAX:03-3653-0740
E-mail:edo-vc@city.edogawa.tokyo.jp

ここでも
ボランティア

オンラインを活用して、ボランティアをしよう!



オンラインで授業をする代表の石井さん



「えがおでカフェ」に参加する生徒と先生の皆さん

新型コロナウイルス感染症が終息しないため、ボランティア活動を休止する団体が多くある一方、オンラインを活用してボランティア活動を再開する団体も増えつつあります。

週1回、在住外国人に日本語を教えている「**えがおで日本語サロン**」(代表・石井教文さん・総合人生大学OB)は、オンライン(Zoom)を使って活動を再開した団体の1つです。

コロナの感染が拡大し始めた春先、直接生徒と顔を合わせて教える本来のスタイルから、Zoomでのオンライン授業に切り替えました。オンライン環境のある外国人(生徒)とボランティア(先生)がパソコンなどの画面を通して、1対1で行うことが基本です。生徒の多くは、自宅のWi-Fiを使ってスマホで授業を受けています。

先生と生徒が事前に週1回の授業時間を決め、自宅でオンラインの準備をして定刻にスタート。実際の「対面式」と同様、発音や顔の表情が伝わり、スムーズに進められています。オンライン授業は、生徒の習熟度をみて継続して行われますが、ときには人生相談に及ぶこともあります。最近では、新たにベトナムからの技能実習生も受け入れました。また、「**えがおでカフェ**」と称し、複数人で自国と日本との文化の違いなどを話し合う方法も取り入れました。代表の石井さんは「外国人が孤立せず、少しでも多くの仲間が出来るよう、オンラインを利用しました。早く対面式のボランティア活動ができることを願っています。」と話していました。コロナ禍で直接顔を合わせることが出来にくい今、オンラインを積極的に活用してボランティア活動を始めてはどうでしょうか。

Zoomを始めるには



第1段階

準備するもの…
パソコン・スマートフォン

● 次の機能があるか確認しよう!

- ① スピーカーとマイク(スマホは内蔵)
- ② カメラ機能(ビデオ通話が可能)
- ③ インターネット回線
- ④ メールアドレス
(招待メールを受け取る)



第2段階

Zoomに参加する
までの1・2・3

1 パソコンやスマートフォンにアプリをインストール

▶ パソコンの場合

「Zoom」と検索し、
「Zoom」公式ホームページからインストール

▶ スマートフォン(スマホ)の場合

アプリ「Zoom Cloud Meeting」をインストール



2 アカウント登録

Zoom公式ホームページの「サインアップは無料です」
のボタンから手続き。名前とメールアドレス登録。

3 ミーティングに参加するためのメールを受け取る

メールアドレスを主催者に伝えてミーティングの
招待メールを受け取る。主催者が承認してスタート。

問合せ先

(公財)えどがわボランティアセンター
☎ 03(5662)7671

公益財団法人 えどがわボランティアセンター

小久保晴行 理事長

令和2年秋の叙勲で **旭日双光章**



小久保晴行理事長

小久保晴行(こくほはるゆき)理事長が長年にわたり地方自治に貢献し功績顕著な方に授与される旭日双光章を受章されました。

平成12年から20年間、江戸川区代表監査委員としての功績が認められたことによりです。

小松川境川親水公園を愛する会

(えどがわボランティアセンター登録団体)

令和2年秋の褒章で **緑綬褒章**



小松川境川親水公園を愛する会

緑綬褒章は、長年にわたり社会に奉仕する活動に従事し、顕著な業績を挙げた方や団体に授与されます。同会は35年以上にわたり、清掃活動や地域行事を行い、親水公園の美化等みどりの愛護に貢献した功績が認められたことによりです。

ボランティア団体登録の更新について

現在ボランティアセンターに登録している団体は、令和3年3月末で2年間の団体登録の期限となります。該当する団体には、1月に更新に関する書類を郵送する予定です。

問合せ先 (公財)えどがわボランティアセンター Tel.03-5662-7671

コロナ対策をして講座を再開しました!

新型コロナウイルス感染症は今だ収束していませんが、3密対策などをとることで、9月から主催講座を再開しました。

これまでに「日本語講座」、「傾聴講座」、「防災講座(初級)」、「手話講座」(継続中)を実施しました。感染防止対策としては、大きい会場を使い、募集定員を削減。ソーシャルディスタンスに適したレイアウト。さらに、検温、マスク着用、手指・物品の消毒、風通しをよくする換気。参加者のフェイスシールドの着用、などを行いました。

今後もコロナ対策をして「防災講座(中級)」、「(初級受講修了者)」、「日本語入門講座」を実施する予定です。ご興味のある方は、安心してご参加ください。

問合せ先 (公財)えどがわボランティアセンター Tel.03-5662-7671



日本語講座



手話講座

「認知症サポーター養成講座」出前します!

認知症サポーターは、認知症について正しい知識を持ち、認知症の人や家族を温かく見守る応援者です。出前講座を団体単位(人数応相談)で実施しています。受講者には、「サポーターの証」としてオレンジリング(右写真)を差し上げます。

詳しくは下記までお気軽にお問い合わせください。
介護保険課事業者調整係 Tel.03-5662-0032



認知症は誰でもなりうる、脳の病気です。認知症の正しい知識と見守りが、あなたの大切な人やあなた自身を守るだけでなく、安心して暮らせるまちをつくります。

ボランティアさん募集情報

募集情報の掲載を希望される施設、団体の方は、
ボランティアセンターまでお問い合わせください。
TEL 03-5662-7671 / FAX 03-3653-0740

公園ボランティア

内容 … 区内の公園の花壇やプランターの花の手入れ、
ごみ・落ち葉の清掃や草取りの活動です。
日時 … 随時(ご相談ください)
場所 … 区で管理する公園(場所はお相談ください)
交通費・食事 … 支給なし
その他 … 一人でもグループでも、お子さんから熟年者まで
広く活動しています。
電話 … 03-5662-0320
担当 … 江戸川区土木部水とみどりの課 調整係

緑のボランティア

内容 … 区で管理する緑地の花壇や街路樹の植込みの草
花の手入れや、水やり、草取り・清掃の活動です。
日時 … 随時(ご相談ください)
場所 … 区で管理する緑地(場所はお相談ください)
交通費・食事 … 支給なし
その他 … 一人でもグループでも、お子さんから熟年者まで
広く活動しています。
電話 … 03-5662-0320
担当 … 江戸川区土木部水とみどりの課 調整係

まちかどボランティア

内容 … 区で管理する道路の清掃や点検、ガードレールや
道路標識の清掃、ポケットパークのベンチのお手
入れの活動です。
日時 … 随時(ご相談ください)
場所 … 区で管理する道路(場所はお相談ください)
交通費・食事 … 支給なし
その他 … 一人でもグループでも、お子さんから熟年者まで
広く活動しています。
電話 … 03-5662-1930
担当 … 江戸川区土木部保全課 事業調整係

水辺のボランティア

内容 … 区内の河川敷の清掃や点検、子ども達との環境
学習のお手伝いなどの活動です。
日時 … 随時(ご相談ください)
場所 … 区内の河川敷(場所はお相談ください)
交通費・食事 … 支給なし
その他 … 一人でもグループでも、お子さんから熟年者まで
広く活動しています。
電話 … 03-5662-0320
担当 … 江戸川区土木部水とみどりの課 調整係

食事支援ボランティア「おうち食堂」(有償スタッフ)

内容 … 食事の支援の必要な家庭に出向いていただき、
買物、調理、片づけまでをお願いします。
資格 … 登録にあたって、研修の受講(半日程度)が必要で
す。希望のエリアや曜日などは、研修後に面談し
ます。
報酬 … 1時間1,250円(概ね2〜3時間・交通費の支給なし)
電話 … 03-5662-5039
担当 … 江戸川区子ども家庭部児童家庭課 成長支援係

登校サポートボランティア(有償スタッフ)

内容 … 付き添いがあれば登校できる児童や生徒のお迎
え、登校後に別室での見守りなどを行う活動です。
対象 … 心理学・教育学を学ぶ大学生・大学院生、教員経験
者、本事業に理解と熱意を持った方を募集します。
日時 … 週1〜2回程度(概ね1〜4時間)
場所 … 江戸川区立小・中学校
活動費 … 1時間1,000円(交通費の支給なし)
電話 … 03-5662-7059
担当 … 江戸川区教育委員会教育研究所 事務係



ありがとう 使用済み切手

9月〜10月 受領：66件 / 18.6kg

ボランティアの振興のため有効に使わせて頂きます。

ボランティア団体登録数

登録団体数：219団体 / 登録人数：6,159人

(令和2年10月現在)



「ボランティア元年」と呼ばれた阪神・淡路大震災[1995年(平成7年)]をきっかけに、被災地を支援するボランティアが活躍するようになりました。その後、東日本大震災[2011年(平成23年)]をはじめとする地震や近年の大きな台風や集中豪雨による被災地に、全国から支援のために駆け付ける「災害ボランティア」の活動が注目されてきました。今号からシリーズで「災害ボランティア」をテーマにした記事を紹介していきます。

● 第 1 回 ● 災害ボランティアとは …

地震や水害などの大規模な災害が発生した際は、行政だけでは対応・復旧作業は困難であり、区民や区外からのボランティアの自主的な活動が欠かせません。災害の被災地において復旧活動、復興活動を行うボランティアを「災害ボランティア」といいます。

災害対策には、「自助」(自分の命は自分で守る)、「共助」(地域での困りごとはお互いに助け合う)、「公助」(法律や計画に基づいた行政による災害対策)の3つがあります。災害ボランティアは「共助」に含まれます。災害時には、市区町村に災害対策本部が設置されます。防災計画に基づく「公助」は、想定外の災害に対して臨機応変に対応できない面があります。

災害ボランティアは、決められた計画の仕事ではなく、必要に応じて動く「自主的」な活動が基本です。「公助」では対応できない被災者のニーズにきめ細かく対応できる長所があります。現在は、被災地に全国からボランティアが集まることが一般的になり※、その参集場所として「災害ボランティアセンター」が開設されます。今回は、「災害ボランティアとしての心得」を紹介します。

※最近では新型コロナウイルス感染防止のため募集範囲が地域に限定される場合があります。

自助

自分・家族

共助

近隣・地域住民
災害ボランティア

公助

行政
指定公共機関



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



江戸川区は、誰もが安心して自分らしく暮らせる共生社会の実現に向けてSDGsに積極的に取り組んでいます。

エスディージーズ

上記は、いま話題の世界目標SDGsのマークです。2030年までに、「持続可能でよりよい世界」を目指し、「誰一人取り残さない世界」の実現に向けて17の目標が設定されています。

「ご存じですか? このマーク」として、次号からシリーズでSDGsに通じる「これからの時代に知っておきたい公共マーク」を紹介していきます。マークの意味を理解することは、多様な人々が共に生きるSDGs社会の実現につながります。

問合せ先

(公財)えどがわボランティアセンター ☎03(5662)7671